

平成23年度

# 施政方針

(概要版)

## 万人でにぎわう生活創造都市

### 豊かな市民生活を支える産業の振興

古くから伝わる沖縄工芸の振興を図り、ひとつつくりの風土を育み、ものづくり産業を発展させることは極めて重要と考えております。

養蚕及び絹織物事業につきましては、新たな生産拠点となる仮称「浦添市養蚕絹織物施設」を活用し、絹糸・絹製品の量産化を図るとともに、当該施設にて、商品販売、及びマユ人形作成などの市民見学、体験、研修の機会を設け、広く浦添産製品への関心を高めてまいります。

昨今の経済状況の中で商業を取り巻く環境は厳しく、問題も複雑化してきております。そのため、地域の現況を把握整理し、新たな商業活性化支援策等を明確化する必要性が



うらそえ織

高まっていることから、課題解決に資すよう「浦添市商業振興ビジョン」の策定に着手してまいります。

プロ野球キャンプは、マスコミ等による情報発信効果、一流選手と直に接することによる青少年健全育成効果、及

び多数の選手・スタッフ、マスコミ等の来訪による経済効果が望めることから、東京ヤクルトスワローズ浦添キャンプを引き続き支援してまいります。

また、例年実施しております神宮球場浦添デーを開催し、全国に「浦添」をアピールするとともに、地場産品等の販路拡大に努めてまいります。

その他、観光産業の創造に「浦添市観光協会」と連携して取り組み、振興に努めてまいります。

全国的に雇用情勢が悪化する中、創設された「ふるさと雇用再生特別交付金」、「緊急雇用創出事業」及び「重点分野雇用創出事業」を活用し、雇用機会の創出に取り組んでまいります。

また、市内在住者を優先し

第156回浦添市定例会が2月25日から3月29日まで開催されました。

儀間光男市長は、施政方針の中で「地域力をまちづくりの原動力として諸施策を展開していきます」と表明しました。

今年度の施政方針について、主な内容を抜粋して掲載いたします。

### 世界に開く拠点の形成

那覇港は、国が予算を重点的に投資する重点港湾四十三港の一つに指定されており、引き続き立地特性を活かした物流の拠点港湾として整備を推進します。

浦添ふ頭地区につきましては、昨年度、第一ステージ事業が埋立竣功に至り、本年度からは道路、下水道等の基盤施設整備へ着手するとともに、都市機能用地への企業誘致に向け調査を進めてまいります。

牧港補給地区の跡地利用計画につきましては、本地区の返還スケジュールを見据えるなかで、地権者や市民及び関係機関との合意形成を図りつつ、実効性のある計画を策定



してまいります。

本年度は、基本構想を具体化する土地利用計画や事業フレイムの検討など、基本計画の策定に取り組んでまいります。

### 市民の活動を支える生活基盤の整備

沖縄都市モノレールの浦添ルート延長整備につきましては、広域的な公共交通基幹軸の構築に寄与するとともに、市民の利便性を高め、また環

から機能維持に努めてまいります。

## 未来へはばたく交流文化都市

### 豊かな心育む生涯学習社会づくり

まちづくりの主役は市民です。市民が、心身ともに充実した豊かな人生を送るため、学びの喜びを実感できる学習活動の提供に取り組んでまいります。

「たご市民大学」では、人材育成を図り、学習成果を地域社会に還元できる環境整備に努めてまいります。

併せて「浦添市たご学園大学院」の運営や、中央公民館等社会教育施設における各

種講座の開設により、生涯学習活動の充実を図ってまいります。

### 未来を担う人づくり

地域と学校の連携を強化する「学校支援地域本部事業」では、対象となる中学校区の拡大を進めてまいります。

また、家庭の教育力向上を図るため「親学」の推進・啓発に努め、併せて「子育てアドバイザー養成事業」を新設し、社会教育学級の充実に努めることにも、「放課後子ども教室推進事業」を引き続き実施し、地域社会の中で子どもたちの健全育成に努めてまいります。

学校教育においては、幼児・児童・生徒の学習意欲を喚起し、自ら課題を見つけ、学び主体的に判断し、より良く課題を解決する能力や、豊かな心とたくましく生きるための健やかな体などの「生きる力」を育成することにも、子ども一人一人の個性を生かす教育を引き続き推進してまいります。

英語教育につきましては、各小中学校に英語指導助手を配置することなどにより、新学習指導要領に適切に対応できる体制を整えてまいります。

また、国際理解教育推進の



一環として引き続き「中学生海外短期留学」を支援してまいります。

特別支援教育につきましては、小中学校へ特別支援教育ヘルパーを派遣し、ニーズに応じた指導に努め、児童・生徒の学習支援の充実を図ってまいります。

教育施設の整備につきましては、良好な学習環境確保のため、継続事業として、「内閣小学校屋内運動場及び幼稚園舎改築事業」に取り組んでまいります。

### 誇りと愛着のもてる市民文化の創造

文化振興事業につきましては、「伝統文化の継承・発展事業」「市民の音楽活動」

「舞台芸術の発展事業」「文化芸術の鑑賞事業」を実施します。具体例として「沖縄」や、昨年度公演し好評を得た「子どもオペラ」などを開催してまいります。

美術館では、海外の工芸にも目を向け、十九世紀に活躍したイギリスのデザイナーで、日本の民芸運動にも多大な影響を与えた「ウィリアム・モリス」の作品展を実施してまいります。

図書に親しむことは、子ども達の人間形成の基礎の一つとなります。市立図書館では、読み聞かせや語り聞かせの環境を充実させることを目的とした「児童室新おはなしコーナー」が供用開始となります。

「移民史編集刊行事業」につきましては、これまで現地調査を行った南米・北米・ハワイ地域の成果をわかりやすく取りまとめたビジュアル版を刊行いたします。市内の子ども達に、世界に目を向け羽ばたいた先人達の歩みを知る機会としてまいります。

「史跡浦添城跡環境整備事業」につきましては、城壁復元整備のため仮設道路設置工事等を実施し、事業の推進を図ってまいります。

市指定史跡「浦添御殿の墓」につきましては、石積み



(浦添ルートが開通した場合のイメージ)

境に優しいまちづくりの形成を図るため、県及び那覇市と連携し事業着手を目指してまいります。

主要な幹線道路等につきましては、国及び県と連携し、新規に県道浦添西原線のモノレール導入区間における拡幅の事業化を図るとともに、それと併せてシンボルロード化に努めるほか、引き続き沖縄西海岸道路浦添北道路、臨港道路浦添線及び県道浦添西原線港川道路の整備を促進し、広域交通の要衝である国道五十八号及び県道浦添西原線の慢性的な交通渋滞の緩和に努めます。

また、那覇工業高西線たご橋の橋梁補修事業をはじめ、生活道路につきましても、緊急性の高い道路より優先的に整備を行い、快適で潤いのある道路空間の創出に配慮しな